

予防接種で健康を守ろう

ワクチンで防げる病気があります。ワクチンによっては、自分だけでなく、家族など周りの人の健康を守ることもつながります。

問い合わせ すこやかセンター ☎21・8118

麻しん・風しんを予防しよう

麻しん・風しんは感染力が強く、感染した人の咳やくしゃみを吸い込んで感染します。妊娠中に麻しんに感染すると早産や流産のリスクが高くなるほか、妊娠初期に風しんに感染すると、生まれる赤ちゃんが先天性風しん症候群(先天性心疾患、白内障、難聴など)を発症する可能性があります。



風しん抗体検査・風しんの定期予防接種

抗体保有率が低い世代を対象に、無料で風しんの抗体検査と予防接種を実施しています。

実施期限 令和7年3月31日(月)
令和7年4月1日以降、抗体検査は約7千円、予防接種は約1万円の自己負担となります。

対象 昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれで、これまでに抗体検査や予防接種を受けていない男性

申込方法 抗体検査や予防接種に必要な無料クーポン券の交付申請は、こまつ電子申請サービスから



申し込みなど詳しくはこちら▶

任意風しん予防接種費用の助成

風しん抗体検査の結果、抗体価が市の基準に該当した人に、MRワクチン(麻しん風しん混合ワクチン)または風しんワクチンの費用を助成します。

対象や助成額、申請方法などは市ホームページをご覧ください。



任意接種費用の助成▶

子宮頸がんワクチン(HPVワクチン)のキャッチアップ接種は今年度末までです

HPV(ヒトパピローマウイルス)は子宮頸がんの原因と考えられているウイルスで、女性の多くが一生涯に一度は感染するといわれています。ワクチン接種で感染を最大90%予防できます。また、感染しても発症を予防する効果もあります。

対象 平成9年4月2日～平成20年4月1日生まれの女性

接種費用 無料(令和7年4月1日以降、1回あたり約3万円、合計で約10万円の自己負担となります。)

接種方法 令和4年5月に接種券兼予診票を送付しています。指定医療機関へ予約し、予診票を持参の上、接種してください。紛失した人は、母子手帳を持ってすこやかセンターに来てください。

詳しくはこちら▶



どれくらいの割合?

※1クラス35人で計算した場合
一生のうちで子宮頸がんになる人

132人
10,000人

2クラスに1人くらい

子宮頸がんで亡くなる人

34人
10,000人

10クラスに1人くらい



带状疱疹予防接種の一部助成も始まりました

対象や助成額、申請方法などは広報こまつ5月号11ページまたは市ホームページをご覧ください。

問い合わせ いきいき健康課(ワクチン接種) ☎24・8131

